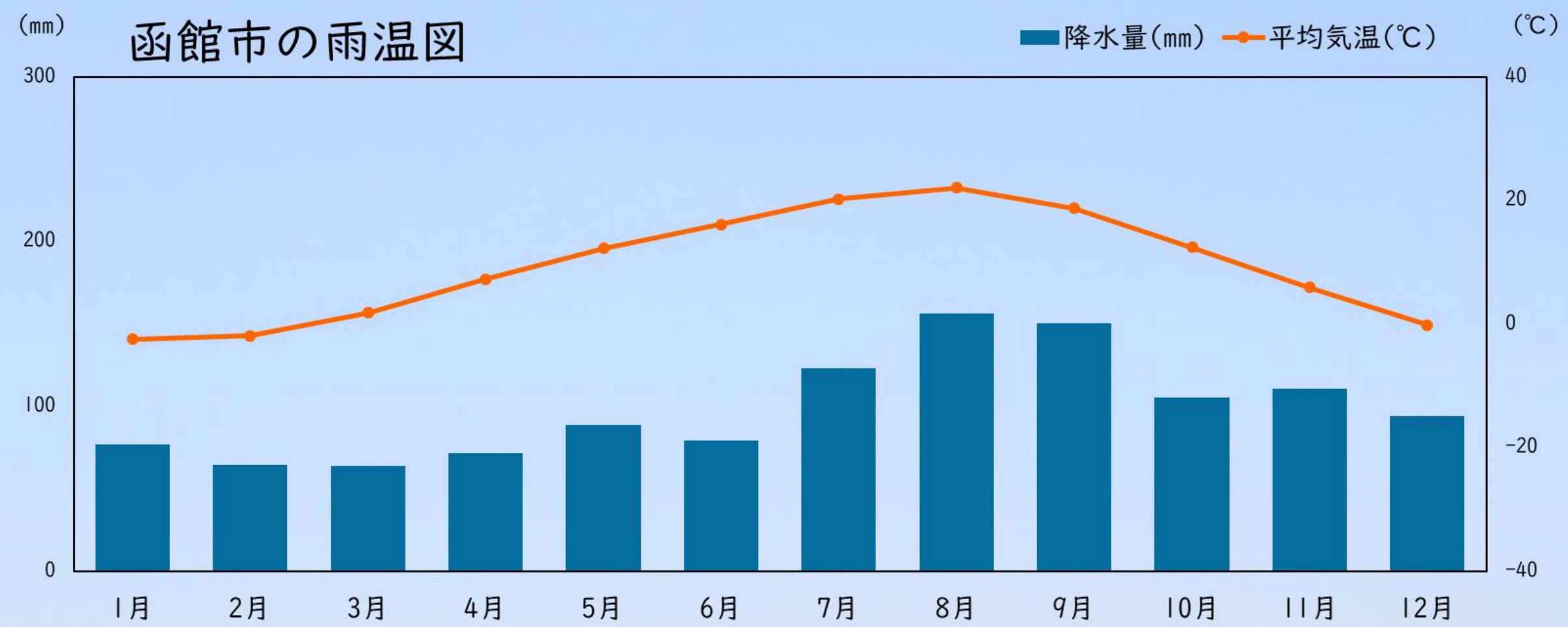


函館市の気候

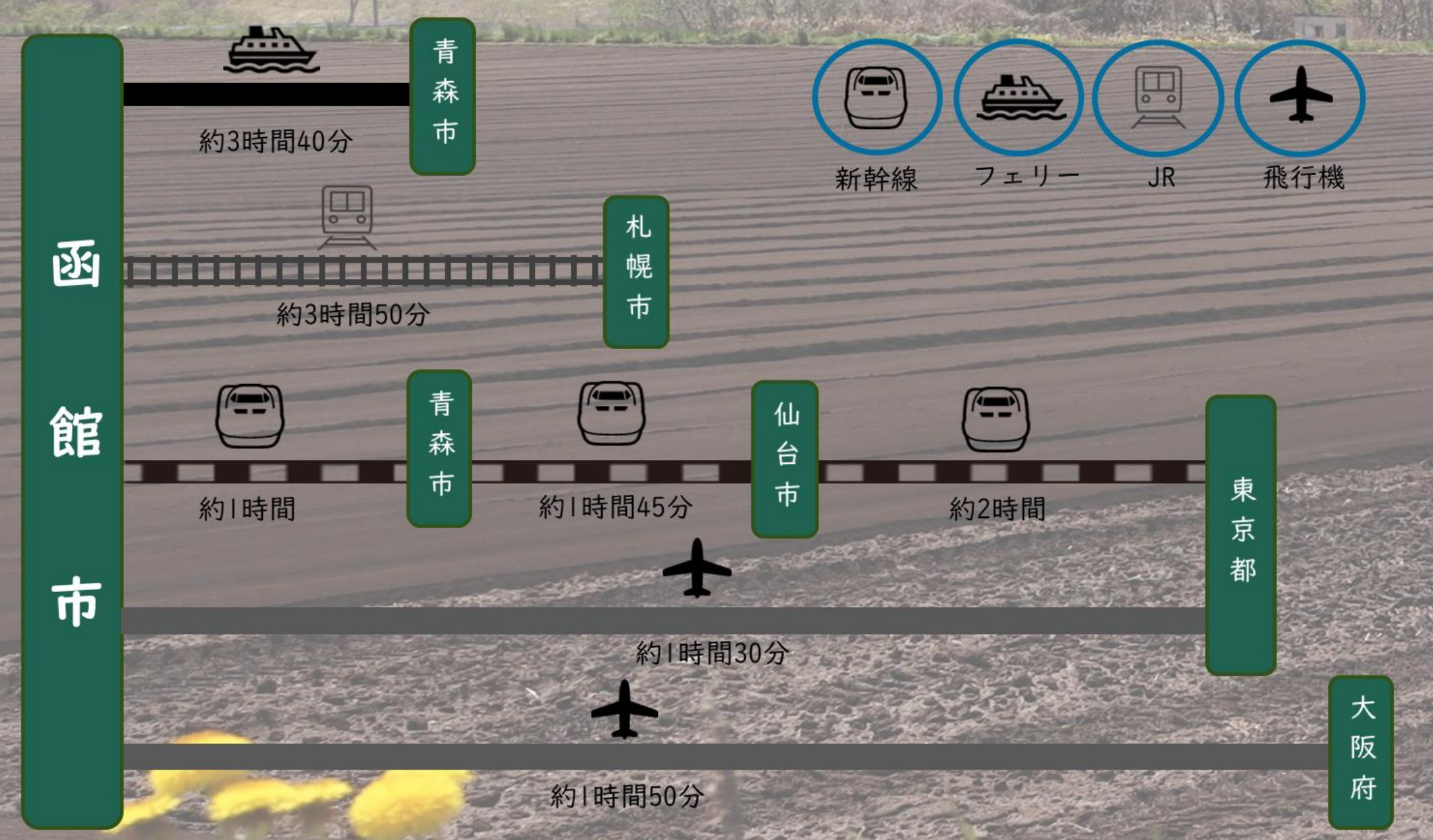


函館市
農業法人
参入支援

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 降水量(mm) | 77.4 | 64.5 | 64.1 | 71.9 | 88.9 | 79.8 | 123.6 | 156.5 | 150.5 | 105.6 | 110.8 | 94.6 |
| 平均気温(°C) | -2.4 | -1.8 | 1.9 | 7.3 | 12.3 | 16.2 | 20.3 | 22.1 | 18.8 | 12.5 | 6.0 | -0.1 |

※気象庁気象データ(函館市の平均値(1991~2020統計))を参照

函館市から都市部へのアクセス



【お問い合わせ先】
 函館市農林水産部農務課
 〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
 TEL 0138-21-3343 Mail noumuka@city.hakodate.hokkaido.jp

函館市農林水産部農務課



函館市の主な農産物



函館市への企業の参入事例

(株)ベルヴェ

経営規模 12.5ha (醸造用ぶどう)

参入背景 フランスの老舗ワイナリー「ド・メヌ・ド・モンティエユ社」が函館の土壌や気象がピノ・ノワールとシャルドネの栽培に適していると確信し、函館市へ参入。H29年に「ド・モンティエユ&北海道」プロジェクトを立ち上げ、農地所有適格法人として(株)ベルヴェを設立した。函館市北部の農地で生産した醸造用ぶどうは市内の自社ワイナリーにてワインに加工し販売する。



(株)NYファーム

経営規模 1.8ha (ごぼう、さつまいも)

参入背景 (株)ニッコーの自社農園「(株)NYファーム」としてR3年に函館市へ参入。(株)ニッコーでは、原材料の安心・安全にこだわり、国産原材料を使うことをモットーとしており、自社の冷凍食品に使用している原材料(農作物)の一部を自給で行うことを目的とし、新たに耕作地を確保した。現在、函館市東部の農地でごぼうやさつまいも等を栽培し、市内の自社工場にて加工する。



函館市の補助制度

函館市農業法人参入支援事業費補助金

函館に参入した農業法人または市内に住所を有する複数の農業者で新たに組織された法人に対し、補助率1/2以内で補助。(最大5年間補助)

【対象経費】

| | |
|----------------|----------------|
| ・土地の賃借料 | 上限 4万円/年 |
| ・土地の購入費 | 上限 20万円(1回限り) |
| ・土壌改良 | 上限 100万円/年 |
| ・機械および施設の取得経費 | 上限 100万円(1回限り) |
| ・機械の借用(リース等)費 | 上限 50万円/年 |
| ・人件費(定額20万円/人) | 上限 100万円/年 |

農業用機械等購入資金貸付金

購入する機械等の価格の80/100以内(限度額700万円)を無利子で貸付。

【対象経費】

| | |
|-----------|------------|
| ・トラクタ | ・耕起・耕うん用機械 |
| ・管理用機械 | ・収穫・調製用機械 |
| ・搬送・運搬用機械 | ・畜舎施設関係機械 |

農業経営向上施設等整備事業補助金

共同利用および共同運営による経営コスト削減や収益性の向上を目的とする事業への助成。補助対象経費(上限5,000万円)の1/2以内。

函館市企業立地促進条例補助金

函館市内に工場などを新增設する事業者を対象に、投資額と増加した雇用者数に応じて助成。